

## 2019年度地籍調査事業費積算システム 主な改良点(β版4月1日公開、正規版5月中旬公開)

項目	公開時期	改良要望	改良内容
○積算システム全体	β版		2019年度地籍調査事業費積算基準書の変更点に対応。(技術者単価、労務者単価、機械損料、単位、適用係数、軽微な表示修正、増加特例適用時の計算、算定簿(A)と算定簿(D)との整合性等)
○地区登録(基本情報・変化率・委託共通)	正規版	<p>地区変更において、変化率等を変更すると算定結果が初期化されるため、変化率等を変更した際は、最後まで自動計算させてほしい。もしくは変化率等を変更した際は、条件や選択工程等はそのまま残された状態で再登録ボタンを押すだけで再計算させる機能への改良。…市町村は予算要望のために何度も積算し直したり、何十通りものパターンを作成する。変更の度、手間がかかり、ヒューマンエラーのリスクを軽減するため。</p> <p>登録後に基本情報の修正が出来ない箇所があるため、地区名も全て修正出来るように自由度を持たせる。…すべて登録後、入力ミス等がある場合に軽微な修正が効かないため、上記同様に手間がかかるとのこと。</p> <p>上記同様にほぼ同条件で何十通りも積算するため、条件等のコピー機能を要望。</p>	地区のコピー機能追加
○委託工程別メニュー	正規版	H1工程・H3工程とH2工程の歩掛入力画面が異なるため、H2工程をH1工程・H3工程と同様の画面に修正。	H1工程・H3工程と同様の表示に修正
○各工程基準額表	β版	各工程基準額表・算定簿A表のExcelファイル名は「地区名+工程名」・「地区名+算定簿A表」のように自動生成させてい。	<p>ファイル名は「地区名+工程名」・「地区名+算定簿A表」に修正</p> <p>例 登録地区名:千代田区永田町の一部 適用帳票:C工程、算定簿A表 ファイル名:「千代田区永田町の一部 C工程」 「千代田区永田町の一部 算定簿A表」</p>

## 2019年度地籍調査事業費積算システム 主な改良点(β版4月1日公開、正規版5月中旬公開)

項目	公開時期	改良要望	改良内容
○各工程基準額表	正規版	各工程で積算ありを選択すると、自動的に電子納品検定も付与されるが電子納品検定は実施しない場合もあるので、委託工程別メニューの複図費の下段に電子納品の選択項目を設けたい。	電子納品の検定有無は地区毎に選択するよう修正
○直営工程(D)	正規版	「使用料及び賃借料」と「支援システムのリース料」は別物であるため、インデントを同じに、表示方法を変更。	表示方法を修正
	正規版	直営工程(A)と直営工程(D)を1つの表示画面とし、地区ごとに計上。委託工程別メニューの直営工程(A)の中に直営工程(D)の内容を表示。このため、TOP画面からは直営工程(D)のアイコンは削除。	直営工程(D)の内容を現在の直営工程(A)内に表示させ、TOPページの直営工程(D)は削除。名称は「直営工程」と修正。これに伴い算定簿D表を「直営工程(D)」の「直営工程」と修正。
○直営工程(A)	正規版	直営工程(A)と直営工程(D)を1つの表示画面とし、地区ごとに計上。委託工程別メニューの直営工程(A)の中に直営工程(D)の内容を表示。	直営工程(D)の内容を現在の直営工程(A)内に表示させ、TOPページの直営工程(D)は削除。名称は「直営工程」と修正。これに伴い算定簿D表を「直営工程(D)」の「直営工程」と修正。
○算定簿(A) ○算定簿(D)	β版	消費税率を乗じる際は、千円未満切り捨てた金額に消費税率を乗じるようにする。	消費税を乗じる経費の合算を一万円未満切り捨ててから、消費税率を乗じる。 例: 直接経費+諸経費(一万円未満切り捨て) × 消費税率 (8%or10%)
○その他	正規版 (市町村のみ)	技術者単価、機械損料は2月ないし3月に翌年度単価・損料が公開されると、予算の関係で再積算が必要となるため、技術者単価、機械損料はTOP画面で自由度を持たせ各自入力可能にさせる。(材料費単価と同様)	(会員向け)次年度予算要望用に技術者単価、労務者単価、機械損料を変更可能とする。
	β版	10月に消費税率が変わることから、8%で計算するか、10%で計算するかを選択項目(チェックボックス等)を設ける。	消費税率8%用・消費税率10%の2つのシステムを用意。
	β版	TOP画面の検定料金表に電子納品の検定料金を追加	検定料金表に電子納品検定料金を追加。